



# なぎさ

小松市立安宅小学校 学校だより

NO. 2

令和4年5月9日

校長 広見 理恵

## 授業参観に参加いただき、ありがとうございました



4月22日(金)は、第一回目の授業参観にご来校いただき、ありがとうございました。感染防止対策を行った上で、授業参観に加え、3年ぶりにPTA総会(オンライン)や、学年学級懇談会も行うことができました。2月はコロナ状況の悪化により、授業参観を中止せざるを得なかったため、今回は何とか実施することができ、安堵しています。

子どもたちの様子については、低学年は元気いっぱい、高学年は落ち着いた授業の様子を見ていただけたのではないかと思います。PTA総会(オンライン)では、①教頭より議案の説明②関戸新PTA会長挨拶③校長挨拶を行いました。来年こそは体育館で直接皆様とお話できる機会になることを願っています。またその後の学年学級懇談会では、学級委員さんの司会の元、各担任から学年・学級の経営方針や子どもたちの様子などをお伝えしました。保護者の皆様から子どもたちの様子なども伺うことができ、教育の場においては顔を合わせて話し合う双方向の関わりが何より重要であると改めて感じました。次回はぜひもっと多数の保護者の皆様に残っていただけるよう、学校としても工夫をしていきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## 何になったかではなく ~任命式~

4月21日(水)5限目に、任命式を行いました。初めて1~6年生全校が体育館に集まり、ピンとはりつめた真剣な空気の中で行われました。

児童会担当の渡邊先生の呼名で、各リーダーが返事をしてその場に起立しました。その張りのある声と、立つときの姿勢がどの子も素晴らしく、その後の各委員長と運営委員からの抱負の言葉も堂々としており、今年の児童会にも大きな期待を抱くことができました。

子どもたちには「何になったか」が大事なのではなく、「何をしたか」が大事であることを伝えました。本気で取り組んだ人にこそ、見えてくる辛さや達成感があります。そうした経験をした人こそが、本当の意味で人を支えることができるのだと思います。「立場が人を創る」・・・ぜひ毎日の当たり前のこと、地道なことに取り組んで、みんなから信頼されるリーダーになってほしいと願っています。



今年の児童会目標は「自分から一歩、輪になって、みんなの思いが通じ合う学校にしよう」です。

学校の主人公は子どもです。「子どもが主語になる学校」を目指し、子どもたち自身の手で自分たちの学校をよりよくしていく「集団自治力」を高める支援を全職員で取り組んでいきたいと思っています。

# どきどきわくわく! 春の遠足

4月30日(金)、1~5年生が春の遠足に行ってきました。春の遠足は学年や学級の親睦を深める意味もあります。温かな日差しの中、どの学年も思いっきりいろいろな活動を楽しんだ一日となりました。



1年 ~辰口丘陵公園~



2年  
~加賀市方面~



4年 ~能美市方面~



5年  
~白山青年の家~



3年 ~白山市方面~



6年生は6月に合宿があるため、一日お留守番でした。